

附中だより

令和4年11月24日発行

文責；附属中 萩原喜成

キャリア教育講演会



10月27日(木)の5・6校時に、PTA四委員会合同講演会と兼ねたキャリア教育講演会を実施しました。

今年度は、教育系講演会「お笑い授業」の

講演活動を行っている「高橋なんぐ」さんを講師にお迎えし、世界を旅した時の経験を中心に「身をもって体験した英語学習の大切さ」「見方を変えると味方になる」「当たり前のことが実は大事なこと」「自分に関係ないことなどない」といったお話とともに夢をもつことの大切さについても、お笑い芸人らしい楽しい語り口と和やかな雰囲気でお話いただきました。



県新人体育大会

県新人体育大会は、市の予選を勝ち上がって参加する種目とオープン参加の種目があります。部によっては、久しぶりの県大会参加でうれしく感じたり、成績上位を目標にしたりと様々な思いがあるようです。結果は、卓球女子個人戦優勝・体操女子個人総合優勝をはじめ、サッカー一部6位入賞・新体操種目別リボン2位などの好成績を収めることができました。しかし成績だけにとらわれることなく、大会を通して学んだことや気付いたことを普段の生活や練習に生かして日々成長することが大切です。その取組が、結果として来年度の選手権や総体での活躍につながったり、学習面や生活面の充実につながったりするのです。成長期真っただ中の中学生ですから、真剣に努力する姿が楽しみです。



関附連山梨大会



11月4日(金)に全国国立大学附属学校連盟関東地区会研究会集會・総会(関附連)がオンラインの山梨開催で行われました。PTA講演会の

講師は、東京オリンピックの卓球女子団体代表の平野美宇選手の母親である平野真理子さんで、本校卓球部の長田さんを相手に卓球のラリーからスタートしました。講演の内容は、自身の卓球選手としての経験、三姉妹の育て方、オリンピックでのエピソードなど、対談形式の講演会でした。

合唱のつどい

附属中学校では、例年、県民文化ホールで合唱コンクールを行ってきました。しかし、コロナ禍で、一昨年はブロックごとの合唱発表会、昨年度は学園祭文化部門(映像の視聴会)に変更されました。今年度は、会場が蕪崎文化ホールであったり、練習環境が十分整わない可能性を考慮してコンクール形式で行わなかったりしましたが、全校生徒が一堂に会しての3年ぶりの合唱を発表することができました。桐龍祭のときから、生徒会本部を中心に感染症対策も考慮しての練習計画を立案し、伝統の全校合唱を取り戻す第一歩を踏み出しました。3年生も経験したことのない全校合唱だったので、取組自体わからないことも多く大変でした。



しかし、校長先生からも、全校生徒が歌う校歌を初めて聞き感動したこと、附属中学校の合唱の再始動として申し分のない合唱だったことを評価していただきました。特に3年生は「有終の美を飾るんだという義務教育を終える決意」と「附属中を託すぞという先輩から後輩への思い」が感じられる素晴らしい合唱でした。来年度の合唱が楽しみです。

